

令和5年3月

湯梨浜町議会定例会

令和5年度

一般会計

当初予算参考資料
(歳出予算 事業概要書)

東伯郡湯梨浜町

【みらい創造室】

令和5年度 一般会計

歳出予算事業概要書 目次

歳出予算

款	項	目	ページ
2. 総務費			
	1. 総務管理費		
		6. 企画費	1
		16. デジタル田園都市国家構想交付金事業	4

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0315 企業版ふるさと納税事業 (簡略番号：042707)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属		0101010900-0000	みらい創造室		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	845	1,169	△324	283	153
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	402	501	△99	101
	一般財源	443	668	△225	182

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 国が認定した地域再生計画「湯梨浜町まち・ひと・しごと創生推進計画」に掲げる事業（第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業）について企業から寄附を受け、地方創生のさらなる充実・強化を図る。
【事業の必要性】
 企業版ふるさと納税について広く募集し、寄附金を地方創生プロジェクトの財源とする。

2. 根拠法令
 地域再生法
 湯梨浜町企業版ふるさと納税基金条例
 湯梨浜町企業版ふるさと納税実施要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【地域再生計画】 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生推進計画
【町総合計画】 未来を創造する先駆的なまちづくり（健全な財政運営の推進）
【地方創生総合戦略】 基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち（にぎわい創出や拠点の形成）
【SDGs】 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 民間専門サイトやマッチング支援サービスを活用するなど積極的な寄附募集を行い、制度活用を推進する。
【事業の効果】
 民間資金を活用して地方創生事業を実施し、町財政の負担を軽減することができる。併せて官民連携による企業とのパートナーシップを構築し、地方創生事業のより一層の深化が図られる。
【令和4年度の評価】
 企業訪問や専門サイト掲載により制度を周知した結果、数件の寄附申出があった。

6. 財源の説明
【その他】 企業版ふるさと納税寄附金 400千円
 企業版ふるさと納税基金利子 2千円
【一般財源】 443千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	150	150	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金	401	401
10 需用費	64	64	25 寄附金		
11 役務費	142	142	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	88	88	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	845	845

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
寄附金	17010101004	企業版ふるさと納税寄附金	400	500
財産収入	16010201424	企業版ふるさと納税基金利子	2	1

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 031500000事業 企業版ふるさと納税事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	16 デジタル田園都市国家構想交
事業	大 0001 生涯活躍のまち推進事業 (簡略番号：036281)				
事業	中				
事業	小				
事業	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010900-0000	みらい創造室			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	13,818	11,078	2,740	8,417	5,284
財源内訳	国庫支出金	6,727	5,392	1,335	3,936
	県支出金				
	地方債				
	その他	800	2,000	△1,200	400
	一般財源	6,291	3,686	2,605	4,081

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
地方創生にあたり、本町が現状において直面する構造的課題を解決するために、新しい生涯活躍のまち事業「多世代が充実安心して暮らせるまちづくり」に取り組む。「交流・居場所」「活躍・しごと」「住まい」「健康づくり」「人の流れ」の観点で、地域活力の循環促進とエリア全体の魅力創出を図り、若者定住と都市圏移住を受け入れる持続的な地域社会の形成を目指す。3か年計画事業の初年度事業として実施する。

【事業の必要性】
地方創生に向けた本町における構造的な課題を「雇用力が小さい／経済循環率が低い／対県外社会増減が恒常的にマイナス／地域課題の自走的解決」と捉え、その解決に向けた事業として実施する。

2. 根拠法令
地域再生法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【町総合計画】安全で住みやすいまちづくり（移住定住の推進）
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち（地域福祉の推進）
基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち（移住定住の推進）
【SDGs】目標8「働きがいも経済成長も」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
全世代・全員活躍のまちの実現に向けて、顕在化している課題を踏まえ、計画的に事業を進める。補完的に必要な事業の調査検討も行き、個々の事業・施策がより効果的に連携するよう展開する。

【事業の効果】
移住定住の促進や地域活動の強化により、経済・社会活動の活性化が図られる。

【令和4年度の評価】
新型コロナウイルス感染拡大の中、アフターコロナに向けた移住促進や関係人口構築のための情報発信をSNS活用やオンライン及び現地でのセミナー、ツアー開催により展開した。

6. 財源の説明
【国庫支出金】6,727千円 **【寄附金】**800千円 **【一般財源】**6,291千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	70	70
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	426	426	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	30	30	25 寄附金		
11 役務費	1,361	1,361	26 公課費		
12 委託料	11,930	11,930	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	1	1	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	13,818	13,818

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101238	地方創生推進交付金		5,392
国庫支出金	14020101246	デジタル田園都市国家構想交付	6,727	
寄附金	17010101004	企業版ふるさと納税寄附金	800	2,000

【補助金】

補助金等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金				
補助基本額	13,453	補助率	50.0%	補助金額	6,727

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 16目 000100000事業 生涯活躍のまち推進事業

【事業名】生涯活躍のまち推進事業

【事業概要等】

湯梨浜町「全世代・全員活躍のまち」

多世代が充実安心して暮らせるまちづくり

交付対象事業費42,199千円×1/2≒21,099千円



事業概要

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用して、「多世代が充実安心して暮らせるまちづくり」に取り組みます。補助率は2分の1で、地方負担額は交付税措置されます。

事業期間は令和5年度から令和7年度までですが、企業版ふるさと納税インセンティブ制度を活用すると、令和9年度まで延長されます。

活躍・しごと

協働組織育成・事業支援事業（まちづくり創造事業） 企画課500千円
地域の活性化や課題解決のために組織化される団体の育成や活動費を支援する。

交流・居場所

新しい居場所交流創造事業 未来創造室8,502千円
松崎駅前拠点施設の利用を複層的に増やす仕組みとして、地域住民に気分転換や癒しの場を提供するとともに、交流促進イベントを合わせて取り組み、湯梨浜まちづくり(株)による協働組織育成事業を展開する。

人の流れ

プロフェッショナル人材副業マッチング

産業振興課19,241千円 未来創造室5,500千円

中小企業に首都圏等在住のプロフェッショナル人材による副業をマッチングし、人的交流による雇用力強化を支援する。

地域課題解決のための関係人口誘致事業 未来創造室5,971千円

地域が必要とする人材ニーズを明確化して首都圏等に情報発信し、課題解決のための実効的な関係人口の構築と移住促進を図る。

ワーケーション推進事業 産業振興課1,367千円

受入体制整備と都市圏企業への情報発信、マッチングを強化。地元独自の体験メニュー造成、サービス提供体制の整備を支援する。

お試し居住体験 未来創造室1,762千円

お試し居住検討者に、湯梨浜まちづくり(株)などの地域法人が現地案内し、暮らしに必要な場所・文化等の情報や自然体験を提供し、移住者受入につなげる。

住まい、健康づくり

● **地域おこし協力隊による空き家利活用に向けた掘り起こし活動（交付金対象外）**

● **SIBによる飛び地型自治体連携（別途交付金を活用）**

● **みんなのげんき館町民総スポーツ推進（別途交付金を活用）**

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	16	デジタル田園都市国家構想交
事業	大	0003	インバウンド促進事業 (GG国際化推進)	(簡略番号：036991)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	総-総-その他				

所属	0101010900-0000	みらい創造室			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	8,672	909	7,763	3,252	1,519
財源内訳	国庫支出金	4,034		4,034	3,102
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,402	901	501	101
	一般財源	3,236	8	3,228	49

【事業概要】

- 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 本町発祥のグラウンド・ゴルフを世界に普及させるべく、海外へのPR活動を行うとともに公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会が主導する国際組織運営に協力する。

【事業の必要性】
 本町で開催される国際大会やワールドマスターズゲームズの参加者の増加を図り、インバウンドの促進など観光・産業の振興を図る。
- 根拠法令
- 用地の状況
- 基本計画との関連

【地方創生総合戦略】 基本目標 I 活力ある元気なまち (観光産業の振興)
【第4次総合計画】 共に支え合う町民が主役のまちづくり (多様な交流の推進)
【SDGs】 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」
- 本年度の計画効果

【本年度の計画】
 デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、国際連盟と連携した海外普及活動、再生した中古用具の海外提供、湯梨浜まちづくり(株)による海外用具販売、海外での知名度向上に向けた発祥地モデル用具開発などに取り組む。

【事業の効果】
 グラウンド・ゴルフ発祥地としての本町の国際的な認知度を向上させ、外国人宿泊客を誘致することができる。

【令和4年度の評価】
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活発な普及活動は控えざるを得なかったが、臨時交付金を活用した海外向けの用具販売を行い、海外普及に寄与した。
- 財源の説明

【国庫支出金】	デジタル田園都市国家構想交付金	4,034千円
【寄附金】	企業版ふるさと納税寄附金	800千円
【財産収入】	グラウンド・ゴルフ国際化推進基金利子	2千円
【繰入金】	グラウンド・ゴルフ国際化推進基金繰入金	500千円
	企業版ふるさと納税基金繰入金	100千円
【一般財源】		3,236千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	3,697	3,697	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金	2	2
10 需用費	2,698	2,698	25 寄附金		
11 役務費	1,762	1,762	26 公課費		
12 委託料	513	513	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	8,672	8,672

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101246	デジタル田園都市国家構想交付	4,034	
寄附金	17010101004	企業版ふるさと納税寄附金	800	500
財産収入	16010201419	グラウンド・ゴルフ国際化基金	2	1
繰入金	18020901001	グラウンド・ゴルフ国際化推進	500	300
繰入金	18021701001	企業版ふるさと納税基金繰入金	100	100

【補助金】

補助金等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金				
補助基本額	8,068	補助率	50.0%	補助金額	4,034

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 16目 000300000事業 インバウンド促進事業 (GG国際化推進)

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	16 デジタル田園都市国家構想交
事業	大 0011 松崎駅前拠点施設指定管理等経費 (簡略番号：038103)	中		細	
事業期間	令 5. 4. 1~令 6. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定	補助単独区分	
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010900-0000	みらい創造室			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	14,882	14,509	373	14,509	13,979
財源内訳	国庫支出金 3,819	6,853	△3,034	6,853	
	県支出金				
	地方債				
	その他 644	604	40	604	
	一般財源 10,419	7,052	3,367	7,052	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 松崎駅前多世代交流拠点施設と松崎駅前総合相談センター並びにお試し住宅を指定管理により運営するもの。平成30年度に締結した協定が満期を迎え、総合相談センターとお試し住宅については令和5年4月から、多世代交流拠点施設については11月から、それぞれ新たに5年間、湯梨浜まちづくり㈱を指定管理者として指定し、各施設を効率的に運営する。
【事業の必要性】
 幅広い年齢層の町民の交流相談等の場を提供し、充実して暮らせるまちづくりを進める。

2. 根拠法令
 地域再生法/湯梨浜町松崎駅前総合相談センターの設置及び管理に関する条例/湯梨浜町松崎駅前多世代交流センターの設置及び管理に関する条例/ゆりはま暮らしお試し住宅の設置及び管理に関する条例/湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例

3. 用地の状況
 町有地 / 一部民有地 (貸借契約)

4. 基本計画との関連
【町総合計画】 安全で住みやすいまちづくり (移住定住の推進)
【地方創生総合戦略】 基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち (地域福祉の推進)
 基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち (移住定住の推進)
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 生涯活躍のまちづくり事業の拠点として、官民連携により全体事業を効果的に推進する。
 <指定管理料> ・総合相談センター等 (R5. 4. 1~ R6. 3. 31) 6,400千円
 ・多世代交流センター (R5. 4. 1~R5. 10. 31) 7,490千円×7/12=4,369千円
 / (R5. 11. 1~R6. 3. 31) 7,490千円×5/12=3,121千円 計7,490千円
【事業の効果】
 培ったノウハウにより施設の効率的運営と官民連携による地域再生事業に取り組める。
【令和4年度の評価】
 コロナ禍の中、自主事業の売店、食堂運営を含め対策を講じ適切な施設運営を行った。

6. 財源の説明
【国庫支出金】 3,819千円 **【使用料及び手数料】** 644千円 **【一般財源】** 10,419千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費 200	200	200	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料 13,890	13,890	13,890	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料 792	792	792	予備費		
14 工事請負費			合計	14,882	14,882
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101238	地方創生推進交付金		6,853
国庫支出金	14020101246	デジタル田園都市国家構想交付	3,819	
使用料	13010101101	松崎駅前多世代交流センター使	644	604

【補助金】

補助金等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金				
補助基本額	7,638	補助率	50.0%	補助金額	3,819

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

02款 01項 16目 001100000事業 松崎駅前拠点施設指定管理等経費